名駅東花車・船入地区まちづくりの会
地区計画検討会（第２回）

日時　令和6年９月18日（水）18:00～19:30
場所　花車ビル南館　会議室

地区の土地や建物に権利をお持ちの方、お住まいの方、営業されている方、会の役員などが参加し、2回目の地区計画検討会を開催しました。

【団体概要】
名駅東花車・船入地区まちづくりの会は、名駅五丁目の価値向上、特性を活かした市街地の形成・活用等を目的に活動しており、令和2年度から成長支援・実践活動助成を受けています。現在、地区計画策定を目指して２か月に一度「地区計画検討会」を開催しています。

【当日レポート】
該当エリアは道が狭い、築年数の古いビルが建っているなど防災面の懸念が多くあります。それらを踏まえ、参加者全員で「道路や公園などをどこに配置するのがよいか」というテーマで意見交換。「ここはいつも通りにくくて危ない」「参加者を増やす必要がある」など、様々な課題を参加者で共有し、その解決方法や車路・歩道・公園の配置など「理想の地区内ネットワーク」を皆で考える時間となりました。

地区計画制度
地区の課題や特徴を踏まえ、住民と区市町村とが連携しながら地区の目指すべき将来像を設定し、その実現に向けて都市計画に位置づけて「まちづくり」を進めていく手法。

【地区の人々が主体となり決める】
・「どのようなまちにしていきたいか」の目標を定める。
・地区計画の目標を実現するために必要な、公共施設や建築規制の方向づけを定める。

【主に建物の建て方のルールを決めることができる】
「地区計画の方針」に従って、まちづくりの内容を具体的に定める。
・道路、公園、広場などの配置
・建築物等に関する制限